

長崎県下に『医療ひっ迫警報』発令！ 佐世保の医療を皆さんの力で守りましょう

(令和5年1月17日)

コロナ患者の増加に加え、インフルエンザの流行期に入ったことから、市内医療機関がひっ迫しています。

また、今回の流行は感染力が非常に強く、院内感染も完全には防げない状況です。医療従事者の感染も増加しているため、コロナ対応病床だけでなく、一般病床・一般医療さらには救急医療にも影響が出てきています。

佐世保の医療を守るためには、市民の皆さんのご理解、ご協力が何より必要です。

- 発熱患者やコロナ陽性者で軽症の方は、以下のことについてご理解をお願いします

「普段から解熱鎮痛剤と検査キットを準備し、症状がある場合は自主検査のうえ、緊急を要しない症状の方は、できるだけ受診を控えてください」

➡受診が必要な場合は、休日・夜間の受診を控え、診療時間内をお願いします

➡受診の際は、症状に応じて自家用車を利用するなどして、救急搬送機能の維持にご協力をお願いします

～医療従事者は悲鳴を上げています～

- コロナ入院患者の増加や医療スタッフの感染により、体制維持が難しく、医療現場は非常に厳しい状況です。
- 医療スタッフは、毎日、懸命に対応されており、心身ともに、疲労が限界にきています。
- 医療スタッフに接する際は、これまで以上に皆様の配慮と感謝の気持ちが必要です。

市民の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

基本的な感染防止対策を徹底しましょう

- 感染や重症化を防ぐため、早めに新型コロナワクチンやインフルエンザワクチンの接種をお願いします
- 会話をするときのマスクの着用や三密回避、定期的な換気などの感染防止対策を徹底してください
- 会食の際は、認証店を利用して、マスク会食や密にならない工夫をお願いします
- 発熱などの症状があるときは、外出を控え、自主検査のうえ、症状に応じて、医療機関などへの相談・受診をお願いします
- 高齢者や基礎疾患を持つ方の重症化が目立っています。高齢者等と接する場合は、家庭内であっても、特に感染対策に注意してください